

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	豊川保育園(1歳児クラス 15名)
年間テーマ	色で遊ぼう!～様々な素材に興味をもち、好奇心を育てる～
活動日	9月

<テーマの設定理由>

残暑が残る中、プール・水遊びを終え、他にも子どもたちが楽しめることはないかと考え、今回は着色した寒天で感触を楽しんでほしいと思い、寒天で遊ぶ。



<活動のために準備した素材・道具・環境設定>

赤・青・黄で着色した寒天(タッパ―や製氷皿) ばけつ 桶 おたま スプーン カップ トレー
ビニールシート

<活動の内容>

テラスにビニールシートを広げ、その後シャワーもできるように裸、素足で行う。大人が出すと、「ゼリー？」と言う子が「並んでいる」と言う子がいる。製氷皿の色が3色だったのをそう表現した様子。タッパ―に切り込みを入れ、桶に出すと、触ってみる子がいる中、一人の子がぐしゃっと握りつぶすと、周りの子も真似てやってみる。握りつぶした子は、パッと顔を上げ嬉しそうな顔で大人を見る。潰さず大事にバケツに入れる子や、潰した物をおたまでカップに入れ、色々な色の寒天をかき混ぜて遊ぶ。「ケーキできた」と見せる。

製氷皿の寒天を反対にして取り出すと、「キラキラ」と形を楽しむ。同様に握り潰す子もいるが、水にいれて遊ぶ子もいた。

<振り返りによって得た先生の気づき>

思い切り握り潰して感触を楽しんでほしいと思っていたが、形のあるものは水に入れおたまですくったり、違った遊び方もあった。どちらも経験できて良かったと思う。感触が嫌だったのか、触れるのみでその後触らない子もいた。寒天の中にフィギアなどを入れ固め、それを取り出す遊びにするなど、工夫してまた遊んでみたいと思った。